

# ゼーフア・ニュース

〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-7-204  
TEL : 03(5566)0821 FAX : 03(5566)0823  
URL : <http://www.zefa.or.jp>

## I. 新年のご挨拶

令和2年の新年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年は総務省消防庁をはじめ、全国の消防関係団体の皆様には日頃より当協会及び協会会員に対しましてご指導・ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

旧年5月の全消販定時総会時の役員改選にて、氏家英喜氏の後任として理事長職の大任を預かることとなりました。今後とも精進努力いたしてまいりますので宜しくお願い申し上げます。

さて、去年は陽春の中、平成から令和へと静かに新たな時代がスタートしましたが、8月には九州北部豪雨、9月の台風15号、10月の台風19号、21号等の極端気象による大きな災害が発生した一年となってしまいました。いままでに経験したことがない、経験や知識が通用しない局地的な豪雨等、地域の風水害対策に対して大きな警鐘を発信した一年でした。被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

点検業務を行う事業所が主体となっている全国で唯一の団体である全消販は、平成6年に消防業界でいち早く協会内に優良な点検業務実施者の発掘と資質の向上を図るため「優良事業所認定」を行い、会員の適正な点検業務を通じて消防用設備等の維持管理の確保に励んでまいりました。

11月には名古屋市において全消販合同会議を開催しました。講演会では総務省消防庁予防課長から「予防行政（課題と対応）」と題してご講演をいただくとともに、愛知県防災安全局、名古屋市消防局、愛知県消防設備安全協会役員との情報交換会を開催しました。当会議には北海道から沖縄まで全国から会員が集い、盛会裏に終わることができました。

全消販は、消費者に最も近い立場から、多様化する社会環境において消防機器の設置、設備点検等の重要性の啓発活動を展開すると共に、「身近な生活における安心・安全の確保」について協会会員が一致協力して地域の発展に積極的に対応する所存です。

今年も、総務省消防庁をはじめ消防行政関係並びに消防防災関係団体各位の力強いご支援を心よりお願いする次第です。年頭にあたり関係各位のご健勝とご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



理事長  
白井 潔

## II. 新年名刺交換会・新年互礼会

### 1. 令和2年 新年名刺交換会（明治記念館 富士の間）

令和2年1月7日午後3時より、林崎理消防庁長官、片山虎之助参議院議員、安藤俊雄全国消防長会会長、高橋淳日本消防検定協会理事長、門山泰明（一財）日本消防設備安全センター理事長その他多くのご来賓、各工業会役職者、会員等約700名の出席のもと、橋爪毅（一社）全国消防機器協会会長の開会の辞と林崎長官、安藤会長のご挨拶、片山参議院議員の祝辞、乾杯のご発声にて令和2年新年名刺交換会が開催され、盛大な懇親会後、遠山副会長の中締めにより閉会しました。

全消販会員各社から、97名の方々が参加されました。

### 2. 令和2年 新年互礼会（ホテルグランヴィア大阪 名庭の間）

令和2年1月9日午後3時より、白石暢彦消防庁予防課長、城戸秀行大阪市消防局局长、高橋淳日本消防検定協会理事長、門山泰明（一財）日本消防設備安全センター理事長、その他多くのご来賓、各工業会役職者、会員等約410名の出席のもと、橋爪毅（一社）全国消防機器協会会長の開会の辞と白石予防課長、城戸大阪市消防局局长のご挨拶、金森副会長の乾杯のご発声にて令和2年新年互礼会が開催され、盛大な懇親会後、遠山副会長の中締めにより閉会しました。

全消販会員各社から、91名の方々が参加されました。

## Ⅲ. 令和元年 秋の表彰関係

### 1. 叙勲伝達式（消防関係）

令和元年秋の叙勲受章者が、11月3日（日）に発表されました。  
全消販会員の古川 榮一 氏が、「旭日双光章」を受章されました。伝達式は、12月12日（木）ニッショウホール（港区虎ノ門）にて執り行われました。  
誠にありがとうございます。

古川 榮一 氏 北興通信株式会社 代表取締役会長(北海道)  
(一社)北海道消防設備協会 副理事長



古川 榮一 氏

### 2. 褒章伝達式（消防関係）

令和元年秋の褒章受章者が、11月2日（土）に発表されました。  
全消販賛助会員の田中 幸男 氏が、「黄綬褒章」を受章されました。伝達式は、12月17日（火）スクワール麹町（千代田区麹町）にて執り行われました。  
誠にありがとうございます。

田中 幸男 氏 モリタ宮田工業株式会社 代表取締役社長（東京都）



田中 幸男 氏

### 3. 令和元年度 消防設備関係功労者等表彰式

11月1日（金）午後3時30分より、明治記念館（東京都港区）にて、林崎 理消防庁長官・高橋 淳日本消防検定協会理事長、門山 泰明（一財）日本消防設備安全センター理事長・橋爪 毅（一社）全国消防機器協会会長、その他多くのご来賓臨席のもと、令和元年度消防設備関係等功労者の表彰式が執り行なわれました。

各受賞者は以下の方々です。また、表彰式終了後、表彰祝賀会が盛大に開催されました。



林崎 消防庁長官

#### (1) 消防庁長官表彰

##### ① 消防機器開発普及功労者表彰

・全消販上申会員より、清水氏、澤田氏が受賞されました。誠にありがとうございます。

清水 健男 氏 ニッショウ機器株式会社 代表取締役社長 （神奈川県）  
澤田 守雄 氏 株式会社福岡トーハツ 代表取締役社長 （福岡県）



清水 健男 氏



澤田 守雄 氏

## ② 消防設備保守関係功労者表彰

・全消販会員より以下の方々が受賞されました。誠におめでとうございます。

高橋 功 氏	株式会社高義商会 (一社) 秋田県消防設備協会 副会長	代表取締役	(秋田県)
吉川 良一 氏	株式会社カワノ	代表取締役	(富山県)
根本 和幸 氏	近畿防災株式会社	代表取締役	(大阪府)
毛利 賢雄 氏	有限会社大栄産業	代表取締役	(愛知県)

## (2) 一般財団法人日本消防設備安全センター理事長表彰

・全消販会員より以下の方々が受賞されました。誠におめでとうございます。

### ① 消防設備保守関係者表彰

宮 永 憲一 氏	イハラ消防設備株式会社	代表取締役	(北海道)
堀 川 正弘 氏	前出工機株式会社	代表取締役	(東京都)
黒 木 誠司 氏	株式会社不二興産	代表取締役	(東京都)
吉 越 俊昭 氏	株式会社 米 峰	代表取締役	(新潟県)
福 楽 哲也 氏	有限会社菱和防災	代表取締役	(愛知県)
横 川 幸生 氏	株式会社ヤマト商会	代表取締役社長	(京都府)

## IV. 令和元年度下期 事業・行事

### 令和元年

10月 7日	令和元年度 消防機器等に関する研修会 (東京)	(アルカディア市ヶ谷)
10月 8日	(一社) 全国消防機器協会事務局長会議	(消防会館)
10月 9日	第9回 消防用設備等点検報告制度のあり方に関する検討部会	(安全センター)
10月 11日	令和元年度 消防機器等に関する研修会 (大阪)	(メルパルク大阪)
10月 29日	第35回広報委員会	(消火器リサイクル推進センター)
10月 31日	(一社) 全国消防機器協会 第3回理事会	(アルカディア市ヶ谷)
11月 1日	消防庁長官表彰式	(明治記念館)
11月 5日	消防機器等製品情報センター運営会議	(消防会館)
11月 5日	(一社) 全国消防機器協会事務局長会議	(消防会館)
11月 15日	全消販 合同会議 (第158回理事会) (名古屋)	(ストリングスホテル名古屋)
12月 6日	(一社) 全国消防機器協会事務局長会議	(消防会館)
12月 18日	消防用設備等の経年劣化等に対応した点検方法等検討会	(安全センター)
12月 19日	消防防災関係資格者講習運営委員会	(安全センター)

### 令和2年

1月 7日	(一社) 全国消防機器協会 新年名刺交換会	(明治記念館)
1月 9日	(一社) 全国消防機器協会 新年互礼会	(ホテルグランヴィア大阪)
1月 14日	(一社) 全国消防機器協会事務局長会議	(消防会館)
2月 5日	全消販 正副理事長会議	(全消販事務局)
2月 12日	(一社) 全国消防機器協会事務局長会議	(消防会館)
2月 19日	第10回 消防用設備等点検報告制度のあり方に関する検討部会	(安全センター)
3月 10日	(一社) 全国消防機器協会事務局長会議	(消防会館)
3月 13日	全消販 第159回理事会	(東京証券会館)
3月 24日	(一財) 日本消防設備安全センター評議員会	(安全センター)
3月 26日	(一社) 全国消防機器協会 第4回理事会	(アルカディア市ヶ谷)
3月 30日	消火器リサイクルシステム評価委員会	(明治記念館)

## V. 全消販 令和元年度合同会議開催

令和元年度の全消販合同会議が名古屋市にて開催されました。以下に実施概況をお知らせします。

開催日：令和元年11月15日（金）14:00～17:30 場 所：ストリングスホテル名古屋

出席者（敬称略）

理事長	白井 潔								
副理事長	結城 剛	山下 保一	武者 惠吾	道畑 仁志					
理事	下出 元明	泰地 浩幸	氏家 英喜	高橋 敬一	栗山 修	諏訪 博之			
	菅原太喜夫	水谷 利広	矢野 正剛	拜師 知行	大槻 浩平	麻生川通夫			
	木内 利幸	永井 健三	相浦 光男						
事務局長	岡田 昇								
監事	金子 勝明	新井 一弘							
会員	柳澤 由藏	佐々木常博	田中 由彦	佐藤 雄亮	森 茂	古川 達也			
	山口 寿人	秋山季久榮	脇坂 豊	篠原 徹	川口 康弘	堀川 正弘			
	小倉 龍彦	清水 健男	菊田 裕文	松井 啓史	野村 親生	梅田 聡			
	貝原 秀哉	鈴木 文三	伊藤 智明	今井謙一郎	毛利 賢雄	佐伯 尚哉			
	榊原 勝之	相羽 清志	西尾 忠臣	永田 豊	新 裕章	浜島 豊博			
	林 富徳	鈴木 明彦	榊原 茂	三矢 隆人	濱口 弘樹	谷本 文彦			
	矢野 陽一	山口 久彦	尾阪 則将	富永 豊	竹村 忠浩	根本 和幸			
	中野 彰	白川 智広	木村 勝彦	宮田 薫	栃尾 進	横田 浩之			
	山下 竜一	井上 英明	西藤 静男	堀田 実	福島 桂子	末吉 勝也			
	田中 大介	中野 裕之	津波古充則						
賛助会員	宮崎 勝美	大高浩一郎	飯塚 昌史	初田 和弘	堀 國治	塩田 圭			
	田中 幸男	宮本 知史	浅田 裕冲	松尾登志紀	村野 剛	高橋 義浩			
	渡邊 光正	澤渡 政己	山田 一廣						

### 1. 第158回 理事会（参加者全員により合同会議）

#### (1) 開 会

事務局長より理事会開催の定足数充足の報告と会議配布資料確認及び会議プログラムの説明があり、白井理事長の開催の挨拶、地元の水谷理事の挨拶があり、定款の定めにより理事長が議長に就任し、議事審議に入った。

#### (2) 議 事

##### 第1号議案 令和元年度 上半期の事業報告について

議長は定款の定めにより業務執行状況を理事会に報告する旨を述べ、以下の事項を事務局長に説明させ、説明後議長はこれを一堂に諮り、承認された。

##### ① 組織・理事会等

上半期の総会、理事会等の実施状況について説明がなされた。

##### ② 事業の概要

褒章・表彰、外部委員会への役員派遣状況について説明がなされた。

##### ③ 会員の状況

新規入会会員、ブロック別の会員状況について報告がなされた。

#### 報告事項

##### ① 研究開発助成事業について

事務局長から、今年度の取組み概要の報告があり、続いて委託先から中間報告がなされた。

##### ② 今後の行事予定について

事務局長から、来春までの主たるイベント日程について報告がなされた。

## 2. 研 修 会 (会 員 か ら の 提 言 ・ PR)

- |                          |         |           |
|--------------------------|---------|-----------|
| (1) 株式会社ファイテック           | 代表取締役   | 林 富徳 様    |
| 「消防出動件数削減と次世代消防技術の開発」    |         |           |
| (2) 株式会社プロテック            | 係 長     | 堀 田 実 様   |
| 「河川監視カメラシステムの有効活用」       |         |           |
| (3) NPO 法人 日本防災環境        | 理事事務局長  | 山 田 一 廣 様 |
| 「日本防災環境の活動状況のご紹介」        |         |           |
| (4) アークリード株式会社           | 代表取締役   | 尾 阪 則 将 様 |
| 「消防設備メンテナンスにおける現状と働き方改革」 |         |           |
| (5) マルヤマエクセル株式会社         | 東日本営業所長 | 村 野 剛 様   |
| 「消防ホース耐圧試験機について」         |         |           |

## 3. 講 演 会

総務省消防庁 予防課長 白 石 暢 彦 様

「予防行政（課題と対応）」と題して、以下のテーマについてご講演いただきました。

### 内 容

- ① 消防用設備等点検報告制度の現状について
- ② 民泊サービスに係る動向等について
- ③ 地震等の災害への対応について
- ④ 超大規模防火対象物等における消防訓練の推進及び2020年オリンピック・パラリンピック東京大会への対応について
- ⑤ 住宅防火対策について
- ⑥ 最近の火災を踏まえた安全対策について



白石予防課長による講演



参加者記念撮影

## Ⅵ. 消防庁からの依頼事項について

消防庁総務課長より、「マイナンバーカードの積極的な取得と利活用の推進について」協力依頼が各消防関連工業会、協会代表者宛にきました。(消防総第478号)

つきましては、会員各社におかれまして、従業員等に対してマイナンバーカードの積極的な取得と利活用の促進の呼び掛けを行なっていただくよう、宜しくお願いいたします。

令和元年6月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」においては、方針に基づき、「安全・安心で利便性の高いデジタル社会をできる限り早期に実現する観点から」「マイナンバーカードの普及を強力に推進する」とされています。これを踏まえた内閣官房からの依頼となっています。

促進にあたり、以下のチラシ、ポスター、リーフレット等の広報素材が用意されていますので、事務局にご一報ください。

- ・チラシ「メリットいっぱい、マイナンバーカード」
- ・ポスター「これからは手放せない！マイナンバーカード」
- ・リーフレット「持ち歩いても大丈夫！マイナンバーカードの安全性」
- ・リーフレット「つくってみよう！マイナンバーカード」
- ・リーフレット「こんなとき あってよかった！マイナンバーカード」

### これからは手放せない！ マイナンバーカード

おもて面にあなたの顔写真入り！  
「**身分証明書**」として使えるよ！



<おもて面>

うら面のICチップにあなた本人であることを証明する、「**電子証明書**」が入っているよ！

**身分証明書**になる！

ライブ会場の入場、携帯の契約、会員登録などに使える！

各種証明書をコンビニで取得できる！

全国のコンビニで、住民票の写しや選挙証明書などが取得できる！

※ 所在地によってサービス内容が異なります。\* 朝8時～22時頃までご利用いただけます。

**ポイントで買い物**ができる！

地域の商店やオンラインでお買い物に使える！

2020年度 実施予定!

**健康保険証**として使える！

2021年3月(予定)からスタート！

ビツとかさずだけでOK！  
とっても便利に！

**スマホ・パソコンでラクラク！**

- ・オンラインで確定申告ができる。
- ・子育てをはじめとする行政手続きができる。
- ・確認結果や医療費が確認できる(予定)。

マイナンバーについてのお問合せ

マイナンバー総合フリーダイヤル **0120-95-0178**

平日 9時30分～20時00分  
土日祝 9時30分～17時30分 (年末年始を除く)

紹介・差違によるマイナンバーカードの一時利用停止については24時間365日受付

■一部のIP電話等で上記ダイヤルに繋がらない場合

連絡カード、マイナンバーカード 050-3818-1250

その他のお問合せ 050-3816-9405

■英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語対応のフリーダイヤル

This telephone number is available in English, Chinese, Korean, Spanish and Portuguese.

マイナンバー制度について 0120-0178-26

お問い合わせ先 0120-0178-27

マイナンバーカードの申請方法はこちら

<https://www.kojinbangou-card.go.jp/kofushinse/>



マイナンバーカードをキャラクター  
マイナちゃん

## Ⅶ. 情報提供

### 1. 閣議決定施策について

令和元年12月5日の閣議決定で『安心と成長の未来を拓く総合経済対策』が決定、発表されました。経済の基本認識と基本的な考え方を受けて、以下の取り組む施策<三本の柱>が発表されています。

#### 【取り組む施策<三本の柱>】

- I. 災害からの復旧・復興と安全・安心の確保
- II. 経済の下振れリスクを乗り越えようとする者への重点支援
- III. 未来への投資と東京オリンピック・パラリンピック後も見据えた経済活力の維持・向上

「I. 災害からの復旧・復興と安全・安心の確保」の骨子は以下のようになっています。

令和元年の相次ぐ自然災害による甚大な被害に対して、「被災者の生活・生業の再建に向けた対策パッケージ」について、補正予算を通じて切れ目なく実行することにより、復旧・復興を加速し、地域における経済活動の停滞を一刻も早く解消する。

あわせて、甚大な被害をもたらす自然災害が毎年のように発生する中であって、災害に屈しない、強さとしなやかさを備えた国土を創り上げるため「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」について、引き続き着実に実行することに加えて、台風被害から得た経験を活かし、ソフト面も含めた水害対策を中心に、防災・減災、国土強靱化をさらに強力に進める。

#### 1. 自然災害からの復旧・復興の加速

台風による被災地において、各種相談支援等引き続き切れ目のない支援、再建に向けた寄り添い型支援を展開する。更に各種施設の復旧と被災した河川や道路等の本格的な復旧を図る。

また、東日本大震災や平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨等で被災した地域の復旧・復興に引続き取り組む。具体的な9施策は、内閣府ホームページを参照ください。

#### 2. 防災・減災、国土強靱化の強力な推進

##### (1) 3か年緊急対策の着実な実行

3か年緊急対策の3年目においても必要な予算措置を講じ、防災のための重要インフラ等の機能維持に係る対策をハード・ソフトの両面から着実に実行する。その際、大規模地震への対応や災害に伴って発生するプラスチックのリサイクル体制の拡充も強化する。具体的な13施策は、内閣府ホームページを参照ください。

##### (2) 水害対策を中心とした防災・減災、国土強靱化の更なる強力な推進

台風被害で明らかになった水害対策上の課題を中心に、補正予算を通じて防災・減災、国土強靱化の取組を更に強化する。大規模な浸水、土砂災害等による被害及び再度災害の防止・最小化を急ぐ観点から、インフラの強靱化を速やかに進める。加えて、避難行動に必要な情報の確保を図るとともに、土地利用等の在り方について検討し、ソフト・ハード一体の事業実施を確保する。また、道路ネットワークの機能強化や、災害拠点へのアクセスルートの無電柱化を推進する等など。具体的な22施策は、内閣府ホームページを参照ください。

#### 3. 国民の安全・安心の確保

災害が激甚化する中、国民の命と財産を守るため、2.に加え、台風被害以外の分野でも、防災・減災、国土強靱化の取組を強力に進める。先端技術の実装や気候変動への対応の観点を踏まえた各種施設の防災対策や、ドローンの基盤技術開発等進める。また、自衛隊、警察、消防の災害対応能力の強化、情報伝達体制整備、防災意識の向上をはじめ、国と地方が一体となった防災・減災の取組を進める等。具体的な16施策は、内閣府ホームページを参照ください。

## VIII. 事務局からのお知らせ

### 1. 新入会員のご紹介

令和元年8月以降以下の各社にご入会いただきました。これからどうぞ宜しくお願い致します。

#### 【正会員】

・イハラ消防設備株式会社	代表取締役	宮 永 憲 一 様	(北海道旭川市)
・アイティ株式会社	取締役社長	濱 口 弘 樹 様	(三重県津市)
・伊藤防災株式会社	代表取締役	伊 藤 智 明 様	(愛知県名古屋市)
・東報電産株式会社	代表取締役	安 達 耕 平 様	(三重県四日市市)
・株式会社 技 電	代表取締役	石 川 達 也 様	(北海道旭川市)
・(株)シー・エス・エンジニアリング	代表取締役	林 健 人 様	(熊本県熊本市)

### 2. 全消販 令和2年 第34回 定時総会について

全消販定時総会は以下の日程で開催されます。詳細のご案内は後日差し上げます。

是非ご予約に入れていただき、多くの会員の皆様のご出席をお願いします。

開催日：令和2年5月11日（月）

会 場：「アルカディア市ヶ谷」（東京都千代田区九段北 4-2-25）

- ・定時総会 14：00 ～
- ・講演会 15：00 ～
- ・表彰式 16：00 ～
- ・表彰祝賀会 17：00 ～

### 3. 全消販 合同会議開催について

全消販合同会議の開催地が決まりました。詳細につきましては後日ご案内差し上げます。

多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

開催日：令和2年10月23日（金） 14時～

- ・合同会議、講演会、懇親会等

開催地：宮城県仙台市

会 場：ホテルメトロポリタン仙台（仙台市青葉区中央1丁目1-1）

### 4. ハロン回収の促進について

特定非営利活動法人消防環境ネットワークでは、使われなくなったハロンボンベの回収を促進しています。解体する建物等にハロンボンベがあった場合、製造元または消防環境ネットワークにご連絡ください。同封しました、リーフレットをご参照ください。

### 5. 新年のご挨拶（事務局）

新年明けましておめでとうございます。

干支の一番目の「子年」は、干支を決めるレースで、ねずみが牛に乗って移動し、最後に牛を追い越して1位になったから、というエピソードがあります。新たな干支のスタートの年として、またねずみ算という言葉通り、ねずみは子供を沢山生むことから繁栄の象徴ともされるとのことです。

本年もご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

編集責任者：理事長 白 井 潔

編 集：事務局長 岡 田 昇